

1. 消費税の会計処理について

消費税の
会計処理

税込経理方式

取引の対価の額とその消費税等の額を合計で経理する

仕訳例1

★現金で10万円の商品売り上げました。

(現金) 105,000円 (売上) 105,000円

仕訳例2

★現金で6万円の商品仕入れました。

(仕入) 63,000円 (現金) 63,000円

税抜経理方式

取引の対価の額とその消費税等の額を区分して経理する

仕訳例1

(現金) 105,000円 (売上) 100,000円
(仮受消費税等) 5,000円

仕訳例2

(仕入) 60,000円 (現金) 63,000円
(仮払消費税等) 3,000円

2. 消費税の納付税額について

消費税等の納付税額は原則として次のよう計算します。

課税期間中の課税売上につき預かった消費税額等

－

課税期間中の課税仕入につき支払った消費税額等

(課税期間中の課税売上割合が95%未満のときは全額の控除は不可)

また、基準期間の課税売上高が5,000万円以下の事業者は‘**簡易課税制度**’の選択ができます。